

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>ナノデス アクュロールⅣ</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.460</b>	△RG <b>0.054</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：アクュロール4**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤  番

**比較対照ボール：アクュロール3**

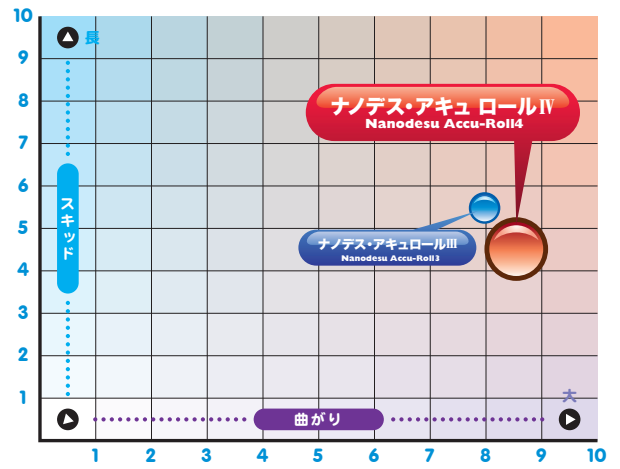
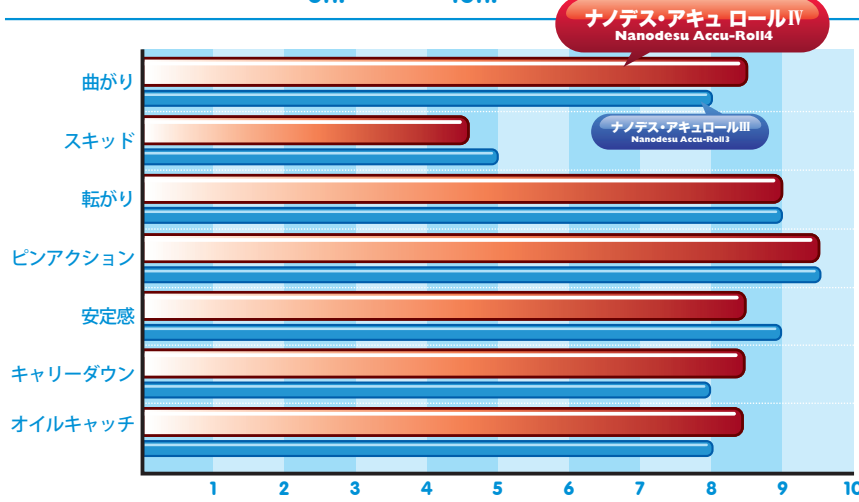
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤  番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

日本の巧みな製法で国外のボールと同等かそれ以上の勝負ができるまでに至った経緯は、日本人の気質と文化でもあり、一点の曇りもなく発売するという拘りとスピリッツだと思います。このAccu-Roll 4も新しい発想を取り入れた巧みな技術が生み出す性能に仕上がっています。Coverstockは3種類の各々違うChemicalを使ったCoverstockを作りブレンドしているHybrid構造。Core Technologyは二種類のCoreを作成し、一つの元になるCoreに上から新たにもう一つを被せることで一つのCoreにしています。それは意図的に比重に偏りをつくり、モーションポテンシャルの原動力になっています。性能の殆どを担うCover Stock、3種類のChemicalをどのようにどんな形で混合させるかに意味があります。今回は特にパステルグリーンの新色パステルと2種類のグリーンとの3つの混合させ、オイルキャッチの部分とドライゾーンでのグリップを担わせています。Cover Stockの構成では前回よりさらに低密度化し柔軟性をUp。特殊パウダーを添加して摩擦係数を上げています。特殊パウダーは表面の凹凸を増やしてオイルゾーンのキャッチを多くしてオイルの濃淡の反応を大幅に軽減させる効果もあります。私のテストングでは光沢ある表面にしてはかなり接地面との摩擦が強いと感じました。ドライゾーンへ向けるとギュッとグリップするし、やや薄いオイルでも反応を見せるので、幅広いコンディションとラインで投球できる印象があります。Nanodesu 女子Team Captainの松永裕美プロはこのAccu-Roll4のプロトタイプでピックゲームを連発しています。「ポリッシュ状態でもしっかりキャッチし、曲がること。ピンアクションの良さも気に入っています。」というコメントも頂きました。"Technologyの結晶"そうナノデスシリーズは表現できると思います。その結晶を是非感じてください。

### 特記事項

**常に進化をもとにナノデスシリーズは拘りをもって作り上げられています。国産ならではの高い品質とクオリティーの高さは投球していただければわかります。**